

問題一 次のA～Eの意味をもつ熟語を①～⑤から選んで記号で答えよ。

A 一刻千金 B 孤立無援 C 奇想天外 D 質実剛健 E 虎視眈々

- ① 思いもよらないような奇抜なさま
- ② すぎがあればつけいろとうかがうさま
- ③ すばらしいひととき
- ④ 仲間がおらず一人とりのこされていること
- ⑤ かざりけなくまじめで強いこと

問題二 A帰納法、B演繹法について説明した次の文章の①②入る適切な語句を語群から選び、カタカナを漢字に直して記せ。

A 多くの実例などから、(①)の一般的な法則・原理を導き出す方法。

B 一般的な法則・原理から、特殊な理論や(②)を導き出す方法。

【語群】 ルイジ ジジツ ゼンテイ キョウツウ

問題三 次の空欄に当てはまる慣用句を語群から選び記号で答えよ。

A 僕が今さら手伝ったところで【 】だよ。

B 全てを手に入れようなんてあまりに【 】。

C あの双子の兄弟は【 】だね。

D 彼女はケーキに【 】。

E 今回の失敗は【 】としかいいようがない。

【語群】 ① 目がない ② 焼け石に水 ③ 身から出た錆 ④ 瓜二つ ⑤ 虫がいい

問題四 次の語句の反対語を語群から選んで記号で答えよ。

A 原因 B 過去 C 具体 D 危険 E 特殊

【語群】 ① 肯定 ② 否定 ③ 安全 ④ 一般

⑤ 相対 ⑥ 未来 ⑦ 結果 ⑧ 抽象

問題五 次の傍線部が断定の助動詞「だ・です」なら○を、そうでなければ×を記せ。

- ① 大変元気がだ。
- ② バレー部の練習はもうすんだ。
- ③ あそこが美術館で、近代絵画がある。
- ④ この川の向こうが愛知県だ。
- ⑤ 彼女ならきつと合格する。

問題六 次の文章には誤った漢字が一箇所ある。訂正し漢字で記せ。

- A 僕が注門したのはカツ井です。 B あくせく働いたあと休計をとる。
- C 走った後に柔難体操をした。 D 暑い日は熱中消に気をつけよう。 E 体調管理は万全です。

問題七 次の文章を読み、後の問に答えよ。

フラテ(犬の名)は急に⑦駈け出して、蹄鍛冶屋の横に折れる①キロのところ、私を待っている。この犬は非常に賢い犬で、私の年来の②トモダチであるが、私の妻などはもちろん大多数の人間などよりよほど④賢い、と私は信じている。で、いつでも散歩に出る時には、きつとフラテを連れて出る。奴は時々、思いもかけぬようなところへ自分を連れてゆく。で近頃では私は散歩といえは、自分でどこへ行くなどと考えずに、Aこの犬の行く方へだまっついて行くことに決めているようなわけなのである。蹄鍛冶屋の横道は、私はまだ一度も歩かない。よし、犬の③アンナイに任せて今日はそこを歩こう。そこで私はそこを曲る。その細い道は【a】の坂道で、時々ひどく曲りくねっている。おれはその道に⑤沿うて犬について、④ケシキを見るでもなく、考えるでもなく、ただ【b】と空想に④耽つて歩く。時々、空を④仰いで雲を見る。ひよいと道はたの草の花が目につく。そこで私はその花を摘んで、自分の鼻の先で匂うて見る。何という花だか知らないがいい匂である。指で摘んで【c】とまわしながら歩く。するとフラテは何かの⑤ビョウシにそれを見つけて、ちよつと立とまっつて、首をかしげて、私の目のなかをのぞき込む。それを欲しいという顔つきである。そこでその花を投げてやる。犬は地面に落ちた花を、ちよつと嗅いで見て、何だ、ビスケットじゃなかったのかと言いたげである。そうしてまた急に駆け出す。こんな風にして私は二時間近くも歩いた。

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に改めよ。

問二 傍線部⑦～④の漢字の読みを平仮名で示せ。

問三 傍線A「この犬の行く方へだまっついて行くことに決めている」とあるが、作者がこのように決めている理由に該当する部分を本文から二七字で抜き出せ。ただし、句読点を含む。

問四 【a】～【c】に入る適切な語句を次の記号から選べ。

ア うろうろ イ だらだら ウ どしどし エ ぼんやり オ くるくる

問五 この文章の作者名である佐藤春夫の代表作を次の記号の中から選べ。

ア 羅生門 イ 走れメロス ウ 坊ちゃん エ 田園の憂鬱 オ 山月記

